

編集後記

■編集委員 (50 音順)

出 月 康 夫
白 日 高 歩

北 島 政 樹
堤 治

北 野 正 剛
万 代 恭 嗣

小 西 文 雄
東 原 英 二

本邦における腹腔鏡下手術は 1990 年における腹腔鏡下胆嚢摘出術からはじまった。腹腔鏡下胆嚢摘出術はその後、手術機器の開発と手技の発展によって急速に普及し、数年で胆石症に対する一般的な手術となった。現在では、特別な理由がない限り、開腹で胆嚢結石症に対する胆嚢摘出術が施行されることは少ない。このような腹腔鏡下胆嚢摘出術の普及には、外科医の積極的な姿勢、学会や学術雑誌などによる手術手技や手術結果の分析の報告、また、トレーニングシステムの確立などが大きな役割を果たしたことは言うまでもない。その後、さらに高度の技術を要する腹腔鏡下手術として、大腸切除術、胃切除術、脾摘出術などが施行されるようになり、しだいに症例数も増加している。さらに最近では、脾や肝の切除に腹腔鏡の技術が導入されつつある。

大腸切除術や胃切除術などの advanced laparoscopic surgery は、はじまってからそれぞれ 10 年、9 年が経過しているが、これらの腹腔鏡下消化管手術は胆嚢摘出術と比較すると、まだまだ一般的に広く普及している状況ではない。腹腔鏡下胆嚢摘出術の普及によって開腹で行われる胆嚢摘出術が少数となっている、という傾向とはかなり異なっている。その理由として、胃切除や大腸切除およびそれに伴って施行されるリンパ節郭清の技術的な困難性と、癌に対して施行された際の遠隔成績がいまだ明確でないという 2 点が挙げられる。技術的な困難性は大きな問題点である。腹腔鏡下大腸切除術の経験が豊かで技術的に卓越している外科医がいる施設では、この術式が大腸癌の治療法として確立した役割を持っており、また、第 3 群までのリンパ節郭清も確立した手技として施行されている。しかし一方、この手術に取り組んでいない施設も数多く、また、開始はしたが技術的な困難性のために軌道に乗っていないといった施設も数多くある。

すなわち、advanced laparoscopic surgery に関しては、学会や研究会で先進的な技術をもって発表されるレベルと、一般的外科医のレベルとの間の違いが広がってきている。この差を狭めていくことを考えた場合、何らかの画期的な技術的 breakthrough がおきるか、あるいは、トレーニングシステムの開発や充実といった地道な努力によってなされ得るかといった可能性が考えられる。手術の安全性を考えた場合、現時点では、胃切除術、大腸切除術、そのほかの advanced laparoscopic surgery は、その技術に卓越した外科医のいる専門的な病院において施行されるべき手術である。腹腔鏡下胆嚢摘出術も当然その対象となるが、特に advanced laparoscopic surgery においては、内視鏡外科の専門的な技術を持って治療にあたることのできる外科医の技術認定が重要であろう。日本内視鏡外科学会の技術認定制度において、技術認定の適切な基準を設定することによって内視鏡外科手術の健全な普及と進歩を促すことができると思われる。

(小西文雄)

日本内視鏡外科学会雑誌 (第 8 巻 第 4 号) 2003 年 8 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1 部定価: 会員には毎号送付されます。その他については、1 部定価 (本体 2,700 円 + 税) となります。

2003 年 年ぎめ予約購読料: 16,500 円 (配送料: 医学書院負担)

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 出月康夫)

〒113-8622 東京都文京区本駒込 5-16-9 (財) 日本学会事務センター内

(☎ 03-5814-5801 Fax 03-5814-5820 担当: 佐々木) <http://www.jses.org>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 5-16-9 Honkomagome Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8622, Japan

©2003, Printed in Japan

発 売: (株) 医学書院 (代表: 金原 優) (本誌担当: 田村, 中田) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株) 文栄社 ☎ 03-3814-8541 (Fax 03-3816-0415)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意下さい。